



2021年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年2月10日

上場会社名 株式会社エフティグループ 上場取引所 東
 コード番号 2763 URL <http://www.ftgroup.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 石田 誠
 問合せ先責任者（役職名） 取締役常務執行役員（氏名） 山本 博之（TEL）03-5847-2777
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	30,612	△10.7	4,995	1.8	5,072	2.6	3,035	1.8	3,037	2.1	3,248	8.7
2020年3月期第3四半期	34,271	0.6	4,908	8.0	4,945	6.9	2,982	△7.3	2,973	△7.0	2,990	△6.9
	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2021年3月期第3四半期	95.26		94.64									
2020年3月期第3四半期	92.37		90.02									

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	32,999	15,961	15,902	48.2
2020年3月期	32,490	15,505	15,299	47.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	26.00	—	35.00	61.00
2021年3月期	—	28.00	—		
2021年3月期(予想)				35.00	63.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	△8.5	6,700	7.1	3,900	0.1	124.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	32,022,268株	2020年3月期	33,262,316株
2021年3月期3Q	911,000株	2020年3月期	1,666,848株
2021年3月期3Q	31,601,743株	2020年3月期3Q	32,191,261株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する重要事象等)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響により経済活動が停滞した後、段階的に改善に向かっておりましたが、秋口以降に感染が再拡大したことにより先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社は、従業員のテレワーク及びオンライン研修等を進め、新型コロナウイルス感染拡大の大きな影響を受けることなく、景気変動の影響を受けにくい小売電力サービスを中心としたお客様から継続して利用料を頂く収益モデルであるストックサービスの拡大を方針として選択と集中を進めました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上収益が前年同四半期の34,271百万円から3,658百万円減少し、30,612百万円（前年同四半期10.7%減）となりました。

営業利益は、前年同四半期の4,908百万円から87百万円増加し、4,995百万円（前年同四半期1.8%増）となり、税引前四半期利益は、前年同四半期の4,945百万円から126百万円増加し、5,072百万円（前年同四半期2.6%増）となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同四半期の2,973百万円から63百万円増加し、3,037百万円（前年同四半期2.1%増）となりました。

事業構成の変化に伴い、2021年3月期より報告セグメントを「ネットワークインフラ事業」「法人ソリューション事業」「その他事業」に変更しました。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しており、主なセグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

(ネットワークインフラ事業)

ネットワークインフラ事業では、小売電力・光回線等のお客様インフラや節水装置等のストックサービスの企画・開発・販売・運営を行っております。

主力商品として拡販している小売電力自社ブランド「エフエネでんき」の契約数が順調に増加し、売上高が前年対比で大幅に増加しました。12月度において電力調達原価高騰の影響がありましたが、光回線自社ブランド「ひかり速トク」、節水装置「JET」等も安定した収益源となっており堅調に推移しております。

以上により、売上収益は前年同四半期の11,850百万円から3,180百万円増加し、15,030百万円となり、セグメント利益（営業利益）は、前年同四半期の1,067百万円から235百万円増加し、1,302百万円となりました。

(法人ソリューション事業)

法人ソリューション事業では、中小企業及び個人事業主向けにUTM（統合脅威管理：Unified Threat Management）・ファイルサーバ・セキュリティ商品・環境関連商品・情報通信機器等の販売・施工・保守サービスを行っております。

UTM・ファイルサーバー・情報通信機器の販売が堅調に推移しました。環境関連商品につきましてもLED照明の買い替え需要が堅調であり、ウイルス対策商品として光触媒による空気浄化装置の販売を開始しております。

以上により、売上収益は前年同四半期の15,334百万円から1,221百万円減少し、14,113百万円となり、セグメント利益（営業利益）は、前年同四半期の2,858百万円から237百万円増加し、3,095百万円となりました。

(その他事業)

ネットワークインフラ事業と法人ソリューション事業以外をその他事業として集約しております。

第1四半期に新型コロナウイルス感染拡大による工事遅延等の影響で、蓄電池の販売が減少いたしました。蓄電池の販売会社である株式会社アローズコーポレーションの当社が保有する株式の一部を譲渡したことにより2020年6月をもって連結子会社から持分法適用関連会社となり、その後2020年9月をもって保有する株式の全部を譲渡したことにより持分法適用関連会社から除外しております。

また、前年第3四半期累計期間には海外法人の売却損益が含まれており、当第3四半期累計期間には株式会社アレクソンと株式会社アローズコーポレーションの売却損益が含まれております。株式会社アレクソンは、当社が保有する株式の全部を譲渡したことにより2020年7月をもって連結子会社から外れました。

以上により、売上収益は前年同四半期の7,660百万円から5,655百万円減少し、2,004百万円となり、セグメント利益(営業利益)は、前年同四半期の1,337百万円から460百万円減少し、876百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ508百万円増加し、32,999百万円となりました。これは、子会社3社の株式の譲渡により連結子会社から除外したことにより、営業債権及びその他債権が592百万円、棚卸資産が555百万円、有形固定資産が734百万円減少したものの、現金及び現金同等物が1,512百万円、契約コストが1,001百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ53百万円増加し、17,038百万円となりました。これは、営業債務及びその他債務が409百万円、有利子負債(非流動)が2,035百万円減少したものの、有利子負債(流動)が1,610百万円、未払法人所得税が523百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の資本は、前連結会計年度末に比べ455百万円増加し、15,961百万円となりました。これは、自己株式の取得及び消却により自己株式が694百万円変動したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年11月10日に公表いたしました予想から変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

注記	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2020年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	8,902	10,414
営業債権及びその他の債権	8,610	8,017
棚卸資産	899	343
その他の金融資産	292	262
その他の流動資産	318	854
流動資産合計	19,022	19,893
非流動資産		
有形固定資産	2,125	1,390
使用権資産	1,785	1,510
のれん	404	570
無形資産	164	125
その他の金融資産	3,336	3,308
繰延税金資産	733	287
契約コスト	4,852	5,853
その他の非流動資産	66	59
非流動資産合計	13,468	13,106
資産合計	32,490	32,999

(単位：百万円)

注記	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2020年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	4,873	4,464
有利子負債	2,080	3,690
未払法人所得税	606	1,130
その他の金融負債	4	17
その他の流動負債	853	1,135
流動負債合計	8,420	10,438
非流動負債		
有利子負債	8,252	6,217
確定給付負債	51	—
その他の非流動負債	240	315
繰延税金負債	20	66
非流動負債合計	8,564	6,599
負債合計	16,984	17,038
資本		
資本金	1,344	1,344
資本剰余金	1,200	1,200
利益剰余金	14,496	14,405
自己株式	△1,742	△1,048
親会社の所有者に帰属する持分合計	15,299	15,902
非支配持分	206	58
資本合計	15,505	15,961
負債及び資本合計	32,490	32,999

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上収益	34,271	30,612
売上原価	21,553	18,015
売上総利益	12,718	12,596
その他の収益	1,078	881
販売費及び一般管理費	8,815	8,375
その他の費用	72	106
営業利益	4,908	4,995
金融収益	124	159
金融費用	87	83
税引前四半期利益	4,945	5,072
法人所得税費用	1,962	2,037
四半期利益	2,982	3,035
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	2,973	3,037
非支配持分	8	△2
四半期利益	2,982	3,035
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	92.37	95.26
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	90.02	94.64

第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

注記	前第3四半期連結会計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上収益	11,287	10,067
売上原価	7,108	6,256
売上総利益	4,179	3,811
その他の収益	20	11
販売費及び一般管理費	2,891	2,815
その他の費用	13	21
営業利益	1,294	986
金融収益	51	116
金融費用	25	31
税引前四半期利益	1,319	1,071
法人所得税費用	576	284
四半期利益	743	786
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	747	787
非支配持分	△3	△1
四半期利益	743	786
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	23.38	25.23
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	22.30	25.06

要約四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期利益		2,982	3,035
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産		23	213
純損益に振り替えられることのない項目合計		23	213
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額		△15	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計		△15	—
税引後その他の包括利益合計		7	213
四半期包括利益合計		2,990	3,248
四半期包括利益合計の帰属			
親会社の所有者		2,981	3,250
非支配持分		8	△2
四半期包括利益合計		2,990	3,248

第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

注記	前第3四半期連結会計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期利益	743	786
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△243	△144
純損益に振り替えられることのない項目合計	△243	△144
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	—	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	—	—
税引後その他の包括利益合計	△243	△144
四半期包括利益合計	500	641
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者	504	642
非支配持分	△3	△1
四半期包括利益合計	500	641

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

注記	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括利益累計額			
2019年4月1日残高	1,344	1,196	15,426	△3,371	13	14,610	449	15,059
四半期包括利益								
四半期利益			2,973			2,973	8	2,982
その他の包括利益					7	7		7
四半期包括利益合計	—	—	2,973	—	7	2,981	8	2,990
所有者との取引額等								
剰余金の配当			△1,903			△1,903		△1,903
連結範囲の変動			△122		2	△120	△257	△377
自己株式の取得				△826		△826		△826
自己株式の消却			△2,892	2,892		—		—
支配継続子会社に対する持分変動		3				3		3
新株予約権の発行						—		—
利益剰余金への振替			23		△23	—		—
所有者との取引額等合計	—	3	△4,894	2,066	△21	△2,846	△257	△3,104
2019年12月31日残高	1,344	1,200	13,505	△1,305	—	14,745	200	14,945

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

注記	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括利益累計額			
2020年4月1日残高	1,344	1,200	14,496	△1,742	—	15,299	206	15,505
四半期包括利益								
四半期利益			3,037			3,037	△2	3,035
その他の包括利益					213	213		213
四半期包括利益合計	—	—	3,037	—	213	3,250	△2	3,248
所有者との取引額等								
剰余金の配当			△1,982			△1,982		△1,982
連結範囲の変動			△33			△33	△145	△178
自己株式の取得				△632		△632		△632
自己株式の消却			△1,326	1,326		—		—
支配継続子会社に対する持分変動						—		—
新株予約権の発行		0				0		0
利益剰余金への振替			213		△213	—		—
所有者との取引額等合計	—	0	△3,128	694	△213	△2,647	△145	△2,793
2020年12月31日残高	1,344	1,200	14,405	△1,048	—	15,902	58	15,961

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、2021年1月26日開催の当社取締役会において、コミットメントライン契約の締結及び資金の借入れについて決議し、実行いたしました。その概要は以下のとおりであります。

1. コミットメントライン契約の概要

- | | |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 借入先 | 株式会社みずほ銀行 |
| ② 借入極度額 | 5,000百万円 |
| ③ 契約締結日 | 2021年1月27日 |
| ④ コミットメント開始日 | 2021年1月28日 |
| ⑤ コミットメント期限 | 2022年1月27日 |
| ⑥ 財務制限条項 | 連結会計年度(第2四半期を含む)の連結決算において、 <ul style="list-style-type: none">資本合計の金額を2020年3月期決算における資本合計の金額の75%以上に維持すること。営業損益を黒字に維持すること。 |

2. 借入れの内容

- | | |
|---------|------------|
| ① 借入先 | 株式会社みずほ銀行 |
| ② 借入額 | 5,000百万円 |
| ③ 借入金利 | 基準金利+0.50% |
| ④ 借入実行日 | 2021年1月28日 |
| ⑤ 返済期日 | 2022年1月27日 |